

# アイデア提案用紙

受 理 番 号

25-A024

標 題	追加工事の発注方法の検討について			
想定される効果 (該当項目をチェック、複数選択可)	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上	<input type="checkbox"/> 事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減	<input type="checkbox"/> 収入の増加
	<input type="checkbox"/> 市のイメージアップ	<input type="checkbox"/> 職員の意識変革	<input type="checkbox"/> 政策・事業の改善	<input type="checkbox"/> その他
提案を総括すべき課				
1 今のやり方(現状・問題点)……具体的に				
<p>【現状】 下水道管設計に伴う新設管路の占用位置の選定については、既設埋設物の位置等を、各管理者(水道・ガス・東電・NTT等)の管理図面を基に現地踏査を行い埋設位置を想定し新設管路の設計を行っております。その際に下水道管路を整備するために既設埋設管の切廻しが必要となると想定される場合には、工事前に試掘調査を実施し工事発注に合わせ切廻し作業を行っているところでありますが、工事施工中において、想定外の支障物件(水道本管)が埋設されている事が判明した場合には、水道局に対し切廻しを依頼し作業を行うものでありますが、下水道管整備工事に伴う付帯工事であるため、現場の状況等を把握している同一業者に随意契約にて切廻し工事を行っております。</p> <p>【問題点】 随意契約のため、入札による他業者との競争が無く落札されている状況である。</p>				
2 私の考え方(改善案)……具体的に				
<p>下水道工事の施工中に想定外の水道管切廻し等の工事が必要となった場合、別工事による随意契約を止め、本体工事の変更契約にて対応。</p>				
3 このように良くなります(改善効果)……数量等を具体的に				
効果額 (算定根拠)	本体工事の落札率(平成25年度落札率約0.8)が適用されるため、経費削減となる。 (例切廻し工事が、100万円の場合約20万円(平成25年度落札率0.8)の削減)			
その他の効果	追加工事の契約業務に掛る日数が節減される 随意契約本数の削減			